

## 城陽市少年少女合唱団 ニュースレター第16号

発行：2026年3月



(2024年度スプリングコンサート・卒団式にて)

### ご挨拶

城陽市少年少女合唱団 指導者 北澤雅恵

昨年3月に20周年記念事業を行いました。多くの人に支えられながら、無事に終えることができました。まずは、ここに改めてお礼申し上げます。そして、新しい気持ちで21年目が始まり、また1年があつという間に過ぎました。

子どもたちと練習する時間は本当に美しい時間です。懸命に耳を澄まし、心を無にして音楽に皆が集中する時間、心のままに思いっきり声を出し合い、歌詞の意味を音と相まって感じ、リズムを刻みながら夢中になって皆で覚えるのです。そしてメロディーを共有し、皆が一つになる。本当に貴重な体験です。この時間がいかに尊いことであるかは何十年も経ってからきっとわかるでしょう。私がそうだったように。

3月1日、『花さき山』を和楽器の伴奏で演奏しました。この曲は10年前にも公演した曲です。その脚本は4年生の道徳の教科書に掲載されているのでした。「自分のことより人のことを思って、涙をこらえて辛抱すると、その優しさと健気さが花となって咲き始めるのだ。」この言葉をもう一度子どもたちと共有したいと思いました。

「人のことより自分が大事」という生き方も否定はしません。でも自分を自分だけで守るという強さが必要です。

私の母は「美味しいもの」をいただくと必ず皆で分け合います。いつも節約して「生活は質素に心は豊かに」がモットーの母。宝くじで10万円当たったとき、「自分一人で喜ぶより、みんなで福を分け合って喜ぶ方が価値がある」と少しずつ友人たちに配っていました。そんな母は、昨年95歳で大きな手術を受けたのですが「私は人のために、いっぱいしてきたから、きっと神様が守ってくれる」と強気でいられました。そして、たくさんの人に支えてもらっていました。「人のために」と思っている経験は、結局「自分のためになっているのだ」と教えられるのでした。

私も子どもたちの事を思ってこれからも精一杯頑張ります。歌が上手くなる事だけが目的の合唱団ではなく、音楽を通して、人として素敵な子どもたちが育つことを目指し、だからこそ、自分を主張する響き合わない声ではなく、響き合う天使の声を目指したい理由がそこにあります。そしてその声で人々を癒し、子どもたちが舞台の上から、客席が「花さき山」のように見える日が来ることを願いながら。

## § 2025年度活動報告 §

### ♪スプリングコンサート&卒団式（2025年3月20日）：文化パルク城陽ふれあいホール

普段は皆一緒に美しいハーモニーを響かせる子どもたちですが、スプリングコンサートではソロや少人数で素晴らしい歌声を披露しました。1月のホールdeクワイヤーから合唱団に加わったばかりのフレッシュな団員たちも堂々とステージに立ち、それぞれの歌を歌い上げました。難しい歌に挑戦した団員もいて子どもたちの成長を感じられたコンサートでした。

続いて行われた卒団式では、立石鈴さん、平井理愛さん、吉村優花さんの3人を送り出しました。城陽市文化芸術協会会長の津守様と、北澤先生から温かいお祝いのお言葉をいただき、答辞では一人ずつ合唱団での思い出や仲間の団員への感謝を述べ、感動的なスピ



一斉となりました。卒団生による歌『彼方の光』は美しい感涙の響きでした。最後に皆で『旅立ちの日に』を歌い、花道を作って卒団生を送り、温かく心のこもった卒団式を締めくくりました。



卒団式に出席していつも思うのは、北澤先生もよくおっしゃっていることですが、合唱団で培ったことはきっと卒団生の一生の財産になるということです。卒団生には兄弟姉妹のように仲の良い団員たちとともに創り上げてきた天使の歌声を大切にして歩み続けていてもらいたいです。

(小6 保護者 雨山深雪)

### ♪ 20周年記念事業（3月29日）：文化パーク城陽ふれあいホール・コスモホール

3月29日、北澤先生、在団生、卒団生、保護者の皆様、来賓の方、他関係者皆様、沢山の方々にお集まりいただき、文化パーク城陽にて「城陽市少年少女合唱団20周年記念特別定期演奏会」が開催されました。第1部では、ふれあいホールにて、オープニングは在団生による歌で始まり、円卓を囲んで乾杯の後、舞台発表、ゲームで楽しんだ後は、長年合唱団の会計をしてくださった3名の方々の表彰式を行いました。お食事もいただき、卒団生と在団生と一緒に歌う夢のようなひととき、保護者同士が再び繋がり、楽しく懐かしむことができました。



第2部ではコスモホールに移動し「20周年記念特別上映会～天使の響きを求めて～」が上映されました。城陽市文化芸術協会人見様からご挨拶をいただき映像を鑑賞、上映後は在団生による歌で幕を閉じました。改めて20年の活動、その成長を見て感動し胸がいっぱいになりました。



北澤先生が20年という長い年月を重ねてこられたことに保護者の一人として深い感謝と感動を覚えます。我が子が初めてこの場に立った日、不安そうだった表情が、歌を通して少しずつ自信に変わっていく姿を、私たちは何度も見てきました。その中心には、20年間変わらず子どもたちひとりひとりと向き合い、音楽の楽しさだけでなく、努力することの大切さや仲間を思いやる心を教えてくださった北澤先生の存在があります。日々の練習や本番に向けての積み重ねは決して楽なものではなかったと思いますが、いつも温かく導いてくださったからこそ、子どもたちは安心して挑戦し、大きく成長することができました。合唱団で過ごした時間と出会いは、子どもたちの心にこれからも生き続ける大切な財産です。20周年



を迎えられたことを心からお祝いするとともに、この場所にこれからも多くの子どもたちの笑顔があふれ、歌声が響き続けることを願っています。  
(高1中2保護者 立石弥奈)

### ♪ JOYOコーラルフェスタ2025（7月21日）：文化パーク城陽ふれあいホール

海の日の祝日に、JOYOコーラルフェスタが開催されました。会場は満席で、立ち見の方々もとてもたくさんおられました。

この日は前半の部の最後に12団体での全体合唱で『翼をください』を歌い、そして休憩をはさみ、後半の部1番目に出演しました。披露した曲は、『キリエ』、『サンクトゥス』、『With You Smile』です。子どもたちの歌声が会場に響きわたり、心温まる気持ちになりました。『With You Smile』の間奏の時に、北澤先生が山崎獅君に花束を渡され、山崎獅君はこのコーラルフェスタが合唱団での最後の舞台出演になる事を伝



えられました。すると、観客の皆様から拍手が起こり、会場が温かい雰囲気に包まれた様子が印象的でした。

今回で23回目というこのような歴史ある舞台に、たくさんの方々に見守られる中、子どもたちが出演させていただける事を嬉しく思いました。

北澤先生、伴奏の桂先生、城陽コーラス連盟を始めとする様々な方々に感謝いたします。ありがとうございました。

【演奏曲：キリエ サンクトゥス With You Smile】

(中3保護者 中園節子)

### ♪合宿（8月7-8日）：ペンション愛宕道

待ちに待った合宿の朝。わくわくして前日なかなか眠れなかった団員もいたようです。毎年お世話になっているペンション愛宕道に到着すると「今年もよう来たね」と笑顔で迎えてくださいました。しっかりと合唱練習をし、そのあとは川でランチ！前日が雨だったこともあり、川が少し濁っていましたが何度も訪れている団員たちはそんなことへっちゃらです。ランチ後、いったん室内で練習をし、いよいよお楽しみの川遊びです。慎重に歩く子、大胆に進む子、様々です。着替えを済ませ、夕飯はバーベキューパーティー！！お天気が心配でしたがペンションの方が私たちのために、バーベキューしましょう！と素早く準備して下さりおいしいお肉や野菜を焼き、愛情たっぷりのおにぎりを頬張りました。お姉さんが焼いて、低学年がひたすら食べる。この低学年の団員たちがいずれ焼く番になる事を知っているのか（笑）。



部屋に戻り、お楽しみ会の始まりです。ビンゴゲームはドキドキしながら北澤先生が読み上げる数字に耳を傾けます。それぞれの景品をゲットし、次はジェスチャーゲーム。出されたお題に体を使って表現し、目いっぱい仲間に伝えます。やはり兄弟姉妹の団結はさすがでした。1日目は今日あった出来事を思い出しながら消灯となりました。

2日目は気持ちのよいお天気です。みんなで虫対策をし、森を散歩します。横には川が流れ、鳥のさえずりを聴きながら普段味わえない空気をたっぷり堪能し、山いっぱい歌声を響かせてからペンションに帰り、朝食をいただきました。合唱の練習もいよいよ終盤。団員たちは目も耳も集中し、先生を見ています。昨日ジェスチャーゲームであんな表現をして笑わせてくれた子が今はこんな顔になるのだと、ふと私はそんなことを感じたのを今でも覚えています。

お昼ご飯はペンションの方のご厚意でカレーライスをいただきました。大人気です。

そして最後にこの合宿で歌いあげてきた成果をペンションの方々に聞いていただきました。『水の星のボレロ』『With You Smile』は団員たちがとても好きな曲です。

ペンションの方々が「きれいなええ声やね」と涙を流し拍手してくださいました。私たち大人はこの歌声を聴くために努力を惜しみません。それは北澤先生を見ていて感じます。そして今回も大変お世話になったペンションの方々、いつも練習場所確保やバス添乗を快く引き受けてくださる城陽市文化芸術協会理事様、練習時には子どもたちに優しく声がけをしてくださる城陽市民余暇活動センターの皆様、合唱団に携わってくださる全ての方々に感謝し、お礼申し上げます。

これからも合唱団の旅は続きます。

(小4 保護者 佐藤久美子)

## ♪京都子ども合唱祭（8月11日）：京都市右京ふれあい文化会館ホール

今年は初めての会場、京都市右京ふれあい文化会館にて開催。あいにくの雨で、警報が出た地域もあり、不参加になった団もありましたが、寺田駅前ロータリーに集まった子どもたちは元気いっぱい、バスで出発。車中も仲良いみんなの話し声や、歌声に癒されながら、会場へ。



初めての会場でもあり、少し落ち着かない付き添いの大人たちとは違い、

子どもたちは通常モードで、元気いっぱい。本当にたくましく、成長した姿を見させてもらいました。

今回は『グリーン・スリーブス』、『キリエ』、『サンクトゥス』、『With You Smile』の4曲を歌いました。参加した他の合唱団の歌声に刺激を受けつつも、改めてこの城陽市青少年少女合唱団で歌えることを嬉しく感じた団員も多くいたのではないかと思います。その場で聞いていた私も、このメンバーで北澤先生のもとで、歌えることが素敵なことだと実感しました。

急遽追加された全体合唱『Believe』では、北澤先生の指揮、桂先生の伴奏で合唱。会場が大きなホールではなかったので、舞台上ることができない団が多かったのですが、ホール全体に響く歌声に感動しました。

【演奏曲：グリーン・スリーブス 『小ミサ曲』よりキリエ サンクトゥス With You Smile】

(中3 保護者 矢作亜希)

## ♪子供のための楽しい邦楽コンサート（11月9日）：京都堀川音楽高等学校ホール

京都堀川音楽高等学校ホールにて、和楽器演奏者と城陽市少年少女合唱団の共演でジブリメドレーの演奏会が行われました。

歌った曲は『崖の上のポニョ』、『さんぽ』、『となりのトトロ』、『もののけ姫』、『君をのせて』でした。和楽器の琴のやわらかく繊細な音色、尺八の深く澄んだ響き、子ども達のまっすぐな歌声が合わさった演奏はとても美しく、和楽器の音色が子ども達の歌声をより一層引き立たせてくれていました。『もののけ姫』は立石鈴さんの独唱で、きれいな歌声がホールいっぱいに響き渡り、聞いている人の心に感動を与えていました。



演奏会後は琴と尺八の体験もさせていただき、実際に楽器に触れ、音を出すというとても貴重な体験もさせていただきました。今回の演奏会はお互いの音、声を聴き合いながら心をつにしている姿が印象的で、とても心に深く残る演奏会でした。

【演奏曲：ジブリメドレー ～崖の上のポニョ・さんぽ・となりのトトロ・千尋のワルツ・もののけ姫・アシタカせっき・君をのせて・人生のメリーゴーランド～】（小4保護者 山本歩美）

## ♪青谷コミセンクリスマス音楽会（11月29日）：青谷コミュニティセンター

青谷コミュニティセンターにて開催された「ちょっと早いクリスマス音楽会」。3年前から毎年ご依頼をいただいていたそうで、合唱団にとっては初めてのステージとなりました。

本番前の準備では、クリスマス为主题にマントを身に着けました。北澤先生に着けていただいたり、子どもたち同士で着け合ったりする姿はなんとも微笑ましい光景でした。

本番では、可愛らしいジブリメドレー、美しいクリスマスの曲を披露し、最後の『With You Smile』は、明るくのびやかな歌声で締めくくりました。



演奏会終了後には、「ブラボー！」の掛け声でお馴染みの中島邦雄さんの歌声を子ども達も聞かせていただく機会に恵まれました。北澤先生のピアノとともに『大きな古時計』を歌って下さり、深く優しく包み込まれるような歌声に触れた子どもたちは、温かな気持ちで満たされていました。いつもは演奏会で「ブラボー！」と励ましをくださる中島さんへこの日は子どもたちからの「ブラボー！」が飛び交いました。

音楽がつなぐ温かな時間を共有できたことが子どもたちの心に深く刻まれる一日となりました。

【演奏曲：ジブリメドレー～崖の上のポニョ、さんぽ、となりのトトロ、もののけ姫、君をのせて～  
グリーン・スリープス クリスマスマュージック～サンタが町にやってきた We Wish You a Merry  
Christmas さやかに星はきらめき 荒野の果てに もろびとこぞりて きよしこの夜～】

(高1 保護者 小沼瑛璃奈)

### ♪うじたわらお茶の里の音楽会(12月14日): 宇治田原町総合文化センターさざんかホール

宇治田原に響いた清らかな歌声

12月14日、古楽器アンサンブルとカウンターテナーを迎えた「うじたわらお茶の里の音楽会」に城陽市少年少女合唱団が出演しました。

幕開けの『グリーン・スリープス』のアカペラ。その瞬間、会場の空気は一変しました。さらに後半では、地元の合唱団と共に『主よ人の望みの喜びよ』や『グローリア』の合唱に参加。大人たちの歌声に子どもたちの清澄な響きが重なり、音楽に輝きが添えられた瞬間は、まさに圧巻でした。

山あいの静かな里である宇治田原にとって、これほど素晴らしい芸術文化に触れる機会は大変貴重です。北澤先生のご指導のもと、背筋を伸ばして心から楽しそうに歌う皆さんの姿は、観客の心を深く打ちました。

舞台上で共演させていただき、また一保護者として、皆さんの純粋な心がこのコンサート全体を優しく守り、導いてくれたと感じております。すばらしい歌声を届けてくれた団員の皆さんと先生に、心より感謝を申し上げます。ありがとうございました。

(うじたわらお茶の里の音楽会主催・ヴァイオリスト 小6 保護者 青木美穂)



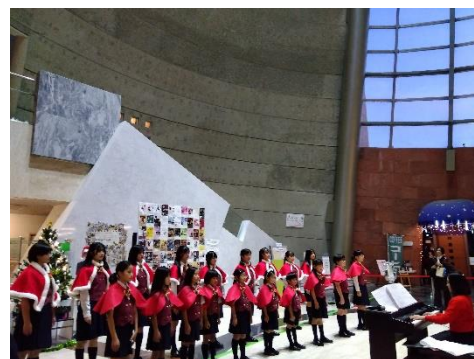
### ♪エントランスコンサート(12月20日)

この日、文化パークのエントランスでクリスマスコンサートが開かれました。

開始前からクリスマスコンサートを楽しみに集まったお客様の多さに驚きながら待機していると、そこに子どもたちが登場。いつもの制服もクリスマス仕様となっており、エントランスはそのひとときがクリスマスの魔法にかかったようでした。

演奏が始まると、子どもたちの明るい歌声が響き、まるで空気そのものが温くなるような雰囲気になりました。

ひとりひとりの表情は真剣で、歌うことを心から楽しんでいる様子が伝わってきました。特に高音の澄んだ響きや、曲の盛り上がりで息を合わせる瞬間は思わず胸が熱くなるほど美しかったです。



そしてクリスマスの定番曲をバックに、我谷知菜実さんの神秘的な天使役や、サンタさんからのプレゼントに喜ぶ子どもたちなどを見ている会場のお客様も自然と笑顔になり、子どもたちの歌声や演技は人の心を動かす力を持っていることを改めて感じました。

また、『水の星のボレロ』は作詞・作曲を手掛けられた水野永子さんがコンサートに来られるとのことで、急遽アンコール曲として披露されました。凄く喜んでくださったとのことで、歌手の子どもたちもうれしかったのではないかと思います。

エントランスという開放的な空間での演奏は、音が天井に広がり、まるで大きなホールで聴いているような豊かさがありました。通りかかった人たちも足を止め、耳を傾けていたのが印象的です。

短い時間でしたが、子どもたちの純粋な歌声に触れ、心が温まる素敵なひとときを過ごすことができました。クリスマスの季節にぴったりの素晴らしいコンサートでした。

【演奏曲：We Wish You a Merry Christmas ジブリメドレー 荒野の果てに さやかに星はきらめき もろびとこぞりて きよしこの夜 水の星のボレロ 主よ人の望みの喜びよ サンタが町にやってきた】  
(小4保護者 長澤卓己)

## ♪クリスマス会（12月20日）



笑顔があふれる、楽しく温かなクリスマス会となりました。

エントランスコンサートの後はほっとした笑顔とわくわくした空気に包まれたクリスマス会をしました。子どもたちはお楽しみのプレゼント交換に大はしゃぎ。さらに団から、今流行りのボンボンドロップシールのプレゼントがあり、歓声が上がりました。嬉しそうに見せ合う姿がとても微笑ましいひとときとなりました。皆で食事を囲み、和やかな時間を過ごしました。最後は先生や保護者も一緒にジェスチャーゲームを楽しみ、『マイムマイム』を輪になって踊って大盛り上がり。子どもたちの

(小4保護者 早川景子)

## ♪第31回やましろ合唱フェスティバル(2026年2月8日): 文化パーク城陽プラムホール

フェスティバル当日は雪が降るととても寒い日でした。

演目は、ジブリメドレーと『グリーン・スリーブス』でした。ジブリメドレーは、『崖の上のポニョ』、『もののけ姫』、『君をのせて』でした。ピアノに合わせ、合唱団みんなの仲の良さがわかる、楽しい歌声が素敵に響き渡り、観客の皆さんが笑顔になりました。最後のポーズもとても可愛かったです。『グリーン・スリーブス』はアカペ



ラのきれいな歌声が会場全体を包む素敵な合唱でした。いつも練習を頑張っていることがよくわかり、子どもたちの成長を感じることができる発表会となりました。

【演奏曲：グリーン・スリーブス ジブリメドレー】

(小4保護者 金澤芽衣)

## ♪もう1つの城陽 ホールdeクワイヤー ～合唱と朗読と和楽器演奏～ (3月1日) : 文化パーク城陽ふれあいホール

今回のホールdeクワイヤーは3部制で、第1部で『花さき山』を発表しました。

「自分のことより人のことを思って、涙をこらえて辛抱すると、その優しさと健気さが花となって咲き始めるのだ。」道徳の教科書にも掲載されるこの物語を、三好晃子先生、みやこ風韻ジュニア合奏団のお琴と尺八の演奏にのせて、朗読も交えながら、歌いました。和楽器の迫力と和の情緒たっぷりな幻想的な雰囲気を感じさせる美しい音、優しい言葉が心に響く素晴らしい演目でした。



第2部では、卒団生によるソロを聞かせてもらいました。憧れのお姉さんたちの美しい歌に、まずはびっくり。そしてうっとり聞き入っていました。

そして、第3部は、歌が好きな一般参加のお友達3名とジブリメドレーを歌いました。第1部での緊張した顔とはうって変わって笑顔たっぷりに登場した子ども達。ポニョを思わせる赤い手袋をしてかわいく踊ったり、美しい響きが広がる『もののけ姫』などが続き、とても楽しい演目でした。続いてスコットランド民謡より、『グリーン・スリーブス』、『アニーローリー』、『スコットランドの釣り鐘草』。何度聞いても感動し、心に残る美しい響きを聞かせてくれました。

ホールdeクワイヤーは城陽市民余暇活動センター主催のもと開催され、いつも細かいことまでご尽力いただいています。城陽市民余暇活動センターの皆様には普段から愛情たっぷりに接していただき、子ども達が笑顔で駆け寄って行くほど。こんなにいろいろな人に愛され、支えていただきながらコンサートが開催できる環境は本当に素晴らしく有り難く思います。

合唱団の子ども達はたくさんのお花を花さき山に咲かせていることと思います。合唱を通して心を育ててくださっている北澤先生、高校生のお姉さん団員含む優しい先輩方、いつも陰ながらサポートしてくださる城陽市文化芸術協会の方々、城陽市民余暇活動センターの皆様、ご協力いただいたすべての方々に感謝します。

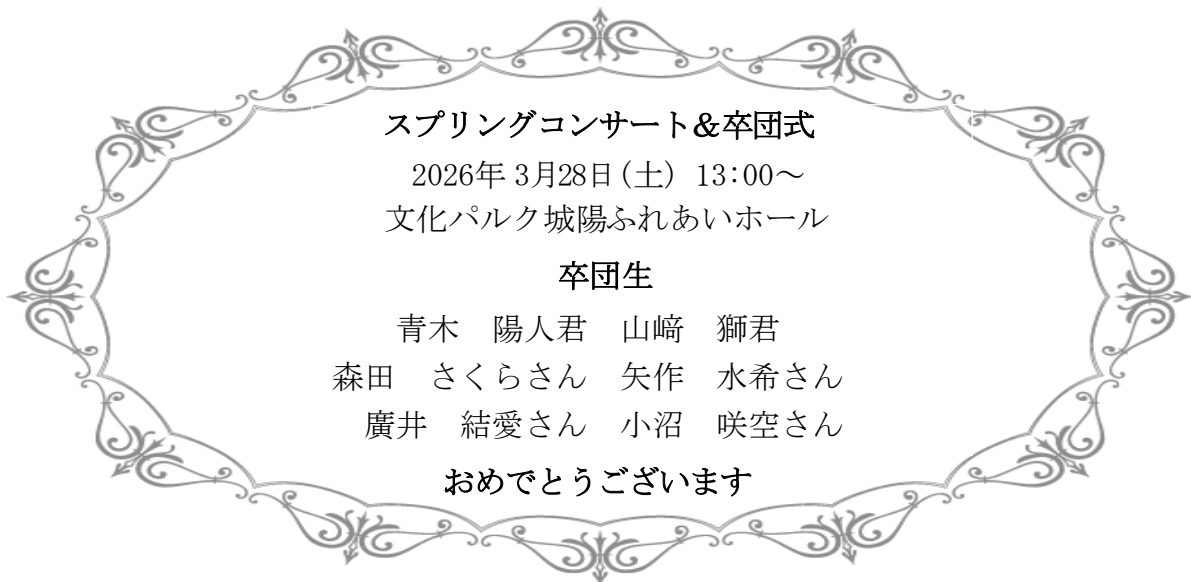
(小2小4保護者 我谷智子)

## ♪スターシャさん 来たる！！（3月8日）

2017年、京都コンサートホールで共演させていただいたスターシャさんが合唱団練習に来てくださいました。まず合唱団が歌い、フレーズの事や、発声の事を真摯に丁寧に教えていただきました。そして、スターシャさんと『私を泣かせてください』や『ふるさと』を一緒に歌い、『フニクリフニクラ』を聞かせていただき、その歌声にとっても感銘を受けました。スターシャさんの歌声は本当に美しく、心打たれた子どもたち。憧れる気持ちが益々膨らみ、サインをもらったり、写真を撮ったりと、世界で活躍されている歌手との出会いに合唱団がとても華やいだひと時でした。私たちが努力を続けられれば、2027年秋、再び一緒にステージに立たせていただけるかも！！



来年度も前を向いて、夢を見ながら、みんなで楽しく頑張りましょう。保護者の皆様、応援よろしくをお願いします。  
(指導者 北澤雅恵)



～今後の出演予定(2026年3月現在)～

- ♪2026年6月14日(日) テレマン室内合奏団、大谷康子さんと共演(プラムホール)
- ♪2026年7月20日(月・祝) 城陽コーラルフェスタ
- ♪2026年8月11日(火・祝) 京都子ども合唱祭(長岡京市文化会館)
- ♪2026年12月 城陽第九演奏会(プラムホール)
- ♪2027年3月7日(日) 次世代事業 音楽と劇「シューベルトさんこんにちは」
- ♪2027年3月27日(土) スプリングコンサート・卒団式

発行元：城陽市文化芸術協会 城陽市少年少女合唱団

編集：我谷 雨山